

豊中の未来を描こう！！

発行 2019 年 8 月

VOL. 154

か ん ば ら こ う い ち ろ う

神原 宏 一 郎 の つ な が り 通 信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～

こまめに
水分補給を
心がけましょう

豊中市議会議員
無所属

関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

🌻 ご存知ですか、愛着障害 🌻

～周りで増えてませんか、気になる子どもたち～

最近、保育園、幼稚園、学校、そして家庭などで、様々な行動の問題があり、その対応、指導、支援に困難を極める子どもが増え、私のもとにもお悩みの声やご相談が寄せられることがしばしばあります。その多くが、専門機関や医療機関の指導や助言をもとに支援をしていますが、なかなか効果がでないというものです。そこで、私が最近、その理解と支援の重要性、必要性を強く感じているのが『**愛着障害**』です。今回は、私が愛着障害を学ばきっかけとなった和歌山大学教育学部の米澤好史教授の著書を参考に記載させていただきます。

☆ポイント1☆愛着障害と発達障害の混同と混乱

発達障害については、世間的にも少なからず認知されてきつつありますが、「発達障害と診断を受け、一般的な支援方法を実施しているが効果がない」、「発達障害が疑われたので受診したが、発達障害ではないと診断され、どのような対応、支援をすればよいのか分からない」といったケースがよくあります。発達障害と混同しやすい愛着障害、愛着の問題を抱えるこどもを見極め適切な支援が必要です。端的に述べると発達障害のうち、ADHD（注意欠如多動性 障害）は、「行動」の問題、ASD（自閉症スペクトラム障害）は、「認知」の問題である一方、**愛着障害は、「感情」の問題で、外見からは最も分かりにくく、見極めが困難です。**

☆ポイント2☆心理療法や医学的治療の弊害

愛着の問題を抱えるこども（愛着障害）の視点や理解が専門家の間でも共有、浸透しておらず、「愛着障害を発達障害と誤解して、発達障害への支援をしても改善せず、徒労感だけが残る」、「愛着の問題に気づいても、親子の問題と決めつけたり、もう、こどもがこの年齢では手遅れと誤解して、諦めてしまう」、「愛着の問題を愛情不足と誤解して、愛情を注ぐことでかえって行動の問題を増幅し、疲弊してしまう」などの現象が頻発しています。その要因の一つに、**心理・医療の専門家が、心理検査や発達検査だけをして、親の訴えだけを聞いて、診断・判断してしまうことが挙げられています。**

☆ポイント3☆愛着修復は「いつでも・誰にでも」可能

愛着修復は、どの発達段階でも可能であり、更に、親はもちろんのこと、その子に深くかかわる機会のある人なら、保育士、教師など誰でも可能です。その際、愛着対象としてのキーパーソンを決定し、一対一の対応を促進すること、「何をしたら：行動」、「何に気づき：認知」、「どんな気持ちになったか：感情」を教える支援（**感情学習**）を行うこと、**大人が主導権を握って、子どもを行動に誘い褒めること「先手支援」が重要だそうです。**

☆神原の見解☆

- ① 愛着の問題を抱えるこどもたち（愛着障害）の実態把握が急務
- ② 愛着の問題を抱えるこどもたちへの支援体制の構築が必要不可欠
- ③ 様々な現場で愛着障害のこどもたちと関わっている保護者や関係者への寄り添いが必要
- ④ 愛着障害を正しく理解するとともに、社会的認識を高めるため、市民への周知が重要



皆さまのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

メールアドレス：young_spiritjp@yahoo.co.jp





効率的、効果的な広報のあり方とは？



～公式 Twitter、Instagram、LINE 続々と開設したものの・・・～

豊中市では、様々な媒体を通じて市政情報やまちの魅力、災害時の緊急情報の発信を行っています。特に、ここ最近、SNSを活用した情報発信に力を入れ始めましたが、もっと効果的、効率的に市民の方々にとって有益かつ必要な情報提供が可能ではないでしょうか。

◆ 豊中市の広報媒体 ◆



Facebook(アカウント名：I Love Toyonaka)2013年5月開設

市の魅力やまちの話題、市政情報をタイムリーに紹介

災害時には緊急情報も発信



YouTube(アカウント名：とよなかチャンネル)2013年6月開設

市の魅力やまちの話題、観光情報を発信



Twitter(アカウント名：豊中市公式広報 Twitter)2018年10月開設

市の魅力やまちの話題、市政情報をタイムリーに紹介

災害時には緊急情報も発信



Instagram(アカウント名：I Love Toyonaka)2019年6月開設

草花や風景など市の魅力情報を発信

他ユーザーによる豊中市に関する投稿の転載



LINE(アカウント名：豊中市)2019年7月開設

市政・イベント情報、景観や季節の風物を投稿

災害時には緊急情報も発信

広報とよなか

毎月1回20万部発行、市内の全世帯と全事業所に配布

予算総額：約1億1100万円

【内訳：約7400万円（印刷代）、約1800万円（制作代）、約1900万円（配布代）】

☆神原の提案☆

① ただ、SNSを活用し、情報発信しているだけでは意味がない！！

- ・媒体ごとに利用者の年齢層やニーズを調査し、媒体ごとに情報内容を変えてはどうか
- ・市職員にもフォローやリツイート、シェアなど、積極的に広報活動に協力してもらってはどうか

② 広報誌の全戸配布は必要か？

- ・広報とよなかから市政情報などを入手している市民の割合を調査すべき
- ・広報とよながが不要な方に、「配布中止」の申し出を勧奨し、1億円を超える経費の削減を図ってはどうか
- ・パソコンやスマートフォンの利用者向けに、広報とよなかの記事をSNSでも発信してはどうか

発行元 前向きひろば ～Positive Square～

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2 階

TEL&FAX:06-6854-5664

平日(土・祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

http://positive-square.sakura.ne.jp/

Facebook 活用しています！！

「つながり日記」毎日 HP で更新中！！

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。

